

## 水曜日から始まった議会

22日から議会が始まりました。22日、23日と24年度の予算や条例改正など議案が提案され、質疑の後に各委員会に審議がゆだねられます。それと、急いで予算を確保したい仕事について、補正予算が出され、23日の木曜日は質疑のあと、採決がされたのです。

その補正予算の審議です。荒川にかかる樋詰(ひのつめ)橋が昨年9月の台風で破損し、今年1月から2千131万5千円で(株)山中工業が受注し、工事が始まりました。改修のためにコンクリートをはがしたら、橋樑の破損が見つかり、1月30日に、急ぎよ工事内容を変え、橋樑本体まで取り替えることになったというのです。この場所は、河川管理上、橋脚は鉄骨の頑丈なものですが、橋の構造は木製で、コンクリートでカバーをしています。

そのために、補正予算をつける異例の措置が必要ということで、<sup>2</sup>2月3日に正副議長と、建設文教正副委員長が現地を案内されたのです。

一番の問題は、なぜ事前の調査のときに、このことが発見できなかったか、ということです。

一度入札をした後に、3割以上の金額が上乘せされる場合には、再入札か再契約の方法がとられます。しかし、既に工事が進み、早く完成する緊急の場合には、随意契約が認められます。でもその場合でも、こんな大きな額の随意契約には相当の慎重さが求められます。もし私がある場で説明を受けていたら、工事の使用や内容をこと細かに質問をしたことでしょう。

無党派だけボイコット、いじめが差別か！

しかし、そうはならなかったのです。正副議長委員長が現場を見学した同日の午後、各会派の代表が呼ばれたそうで、~~そこで説明を受けたのだそうです。~~しかし、私と渡辺、新島両議員の無党派3人には、~~当日に至るまで、何の相談も説明もなかったのです。~~

たし

そのことを数日前に知った私は、桶川の今の組織なき実態を冷静に受け止め、まずはそういう考え方を持った根源について、明らかにしようと思いました。

第 25 号議案についての質疑、永野議員質疑のあと、私が「ハイ!」

議長「1 番、北村議員」

北村「今回の議案、正副議長と委員長が現場に見学に行ったと聞いている。このような緊急事態の場合、全議員に声をかけて、桶川の問題を共有して、一緒に対処すべきではないか。その後各会派の代表にも説明したという。しかし、私を含め無会派には一切説明も情報もなかった。

副市長、これは、いじめなのか、差別なのか、はっきり答えていただきたい。」

絶対に許さないぞ、という、静かにドスの効いた声に、なってしまったのですが……。

一瞬、副市長の顔が赤くなり、困惑した様子。

その他、契約の内容、橋の材質、とともに「叩いた音で確認したときは、中が腐っていると感じられなかった、との説明だったが、写真を見る限り、このような状況なら音でわかったはず、確認の方法が悪かったのではないか。」

今度は、一瞬担当課長の表情が変わった。……アア、責任は感じているなど、直感しました。

その質問の間に、市長と副市長が頭をHつけて、ゴソゴソ。

壇上に立った副市長「各会派の代表を呼んで説明をしたわけではございません。」

あら、嘘ついちゃった!! まあまあ、こんなこと言っちゃって、大丈夫?

ところが、

市長「おっしゃるとおり、このような状況の場合、できるだけ議会の皆さんに情報を共有することは大切なことと考えておりますので、今後は充分気をつけてまいりたい。」

あら？ 市長が珍しく認めた？へえー。

どっちが先に発言したかは、覚えていません。とにかく二人で何か打合せをした結果、順番に壇上に上がったという成り行きになりました。

私「副市長、嘘を言っても駄目ですよ。」と、言ったあと、細かい問題点など、いろいろ話しましたが……

次の渡辺議員に質問で、おかしいやら、呆れるやら、記憶がすっ飛んでしまいました。

#### 渡辺光子氏の質問

渡辺議員「ハイ！」手を上げました。

「この問題、私も北村議員と同じ考えでございます。……略……私も課長に確認をいたしました。本当なの？ そうだということです。聞くところによると、担当課は説明をする気があったらしい、でもどうやら、それを止めたのは副市長だと。」

一瞬、議場が笑いとどよめき。副市長の目が泳ぎ、困惑した顔。

私「あら、言っちゃったよ。言わないでおいてあげたのに……」

それに、課長の話を出してしまったら、立場がない。そう思ったので、私はあえて課長には聞かなかったのです。仕事がしにくくなると。

でも、このブログで書いたので、副市長も市長も、表立っては本当のことを言った課長を咎めないでしょう。多分、課長のことを信頼しているでしょうし……。

第一、本当のことを行っては駄目だ、とも指示していないだろうし……。自分の指示に責任を持つ感覚くらいはあると信じたいですね。

この顛末は、議事録が出てきたら、是非読んでください。私も紹介をします。

緊急工事には、全員が賛成をしました。でも私は、もうすこし疑問が残っているので、調べ続けようと思っています。

市長が、かばったということは、少し市長の自覚が出てきたのか(今頃?)、副市長に恩があるのかなー。

とも、チラッと頭をよぎりましたが、何しろ、目の前に市長と副市長がいるので、目で見えないものまで見えちゃいます。

皆さんも、是非議会を傍聴してください。

カテゴリー：北村あやこの思い